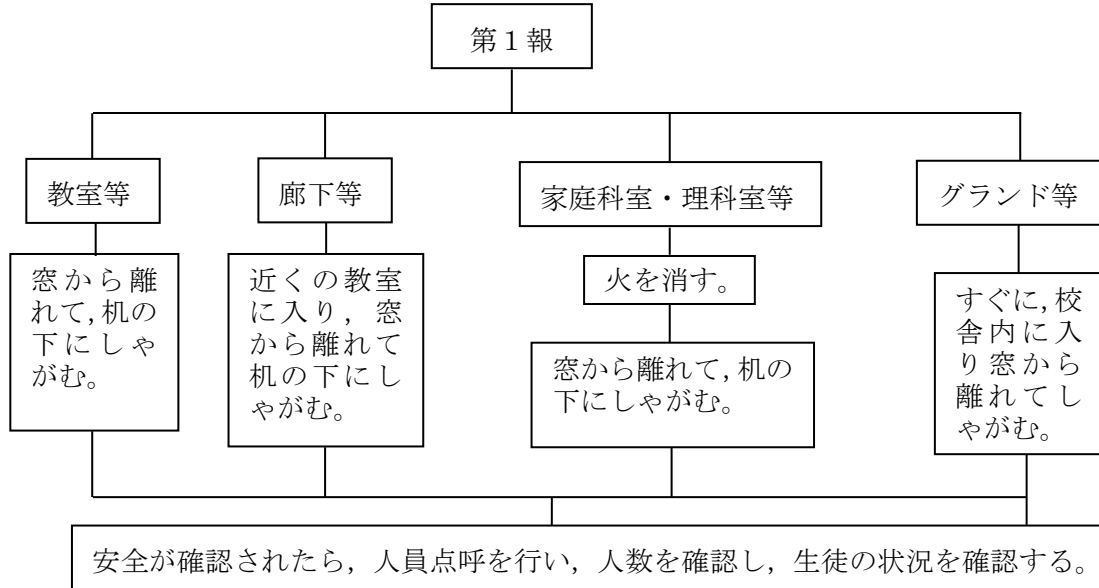


# 弾道ミサイル発射時に係る対応マニュアル

(すでに登校している生徒への対応)

## 1 緊急情報①(ミサイル発射情報の第1報)が発信された場合

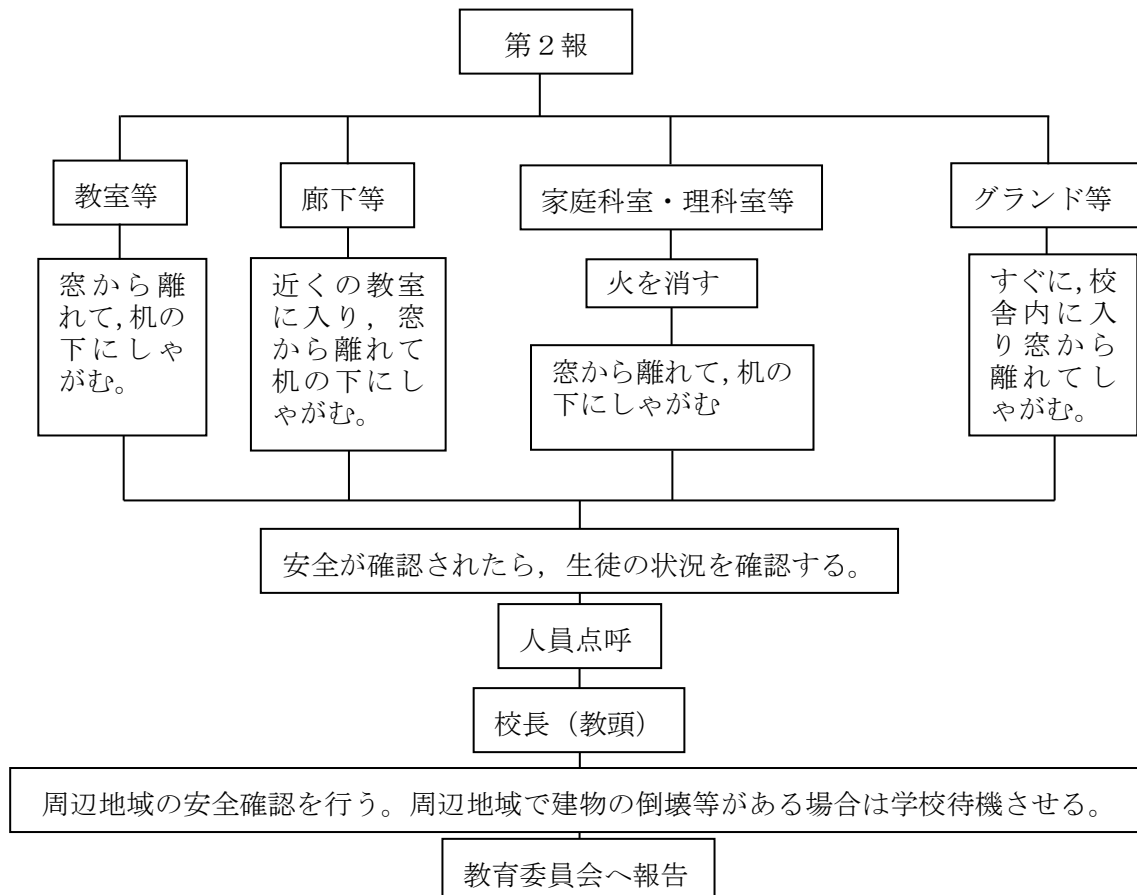
「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中、又は地下に避難してください。」



## 2 緊急情報②(緊急情報①を受けての第二報)が発信された場合の行動例

「直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。」

「ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。」



《 屋内:教室等の場合 》

- できるだけ窓から離れ、机の下等にしゃがむ。
- 火を使っているところは、まず火を消す。
- 「上からものが落ちてこない」「横からものが倒れてこない」「ものが移動してこない」  
場所に移動し、安全を確保する。

《 屋外:グラウンド等の場合 》

- 速やかに、校舎等へ頑丈な建物に避難する。
- 校舎等へ頑丈な建物に避難することが不可能な場合は、地面に伏せて頭部を守る。

《 対応 》

- 人数確認をしたら校長に報告する。その後、校舎内を点検し、安全であれば教室に誘導する。危険箇所や破損箇所については教頭に連絡する。
- 情報収集を行い、周辺地域の安全確認にする。
- 周辺地域の安全が確保されない状況では、原則として生徒は下校させず、保護者に来校をもとめて引き渡す。この時は、担任等により保護者確認を行う。

### 3 ミサイルが着弾した場合の行動例

ミサイルが着弾した場合に取るべき行動の例は次の通り。

○ 近くにミサイルが着弾した場合

- ・屋外(グラウンド等)にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋(校舎等)または風上に避難する。
- ・屋内(教室)にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

- 弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。